

# 緊急地震速報連動用システム 「Rシステム」のご提案

株式会社インフォテック

2006/11/21

# 家庭内の利用 (Rシステムによりできる事)

緊急地震速報を活用しRシステムで家庭内にて利用できるサービスとしては、以下の事が現在可能です。

## ■ 表示機能

1. 地震の予測震度を表示します。
2. 地震が到達するまでの猶予時間のカウントダウンを表示します。

## ■ 音声機能

1. 地震の予測震度を音声出力します。
2. 地震が到達するまでの猶予時間を音声出力します。

## ■ 制御機能

1. 強電の接点を利用し、直接熱源等の電源の遮断(復旧)をします。
2. 信号用の無電圧接点を利用し、HA対応家電等の遮断(復旧)をします。
3. RS232Cを用い、電文形式での制御・計測が可能です。

# 当社の商品群

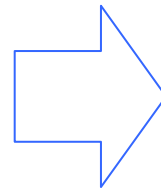
表示及び音声出力用としては、以下のものがあります。

## RPC

ユーザーの持つインターネット環境を具備したPC上に、インストールする緊急地震速報の受信用ソフトウェアです。ブラウザから使用する住所の郵便番号を入力することにより、緯度経度のパラメーターが自動でインストールされ、プラグイン感覚で、使用可能になります。



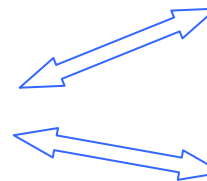
通常時は、時計表示になっています。ソフトはメモリー内で常駐していれば、他のソフトウェアを利用していても、情報の伝達は可能です。



緊急地震速報受信時には、左記の様な表示画面が現れ、予測震度及び猶予時間を表示しながら、PCの音声を最大化し、音声出力を行ないます。

## RPDA

上記RPC用のソフトウェアの機能を携帯用端末で実現したものが、RPCです。表示やカウントダウン等はRPCと同様です。無線のルーターを利用し、24時間家庭内の色々の居室で利用できます。



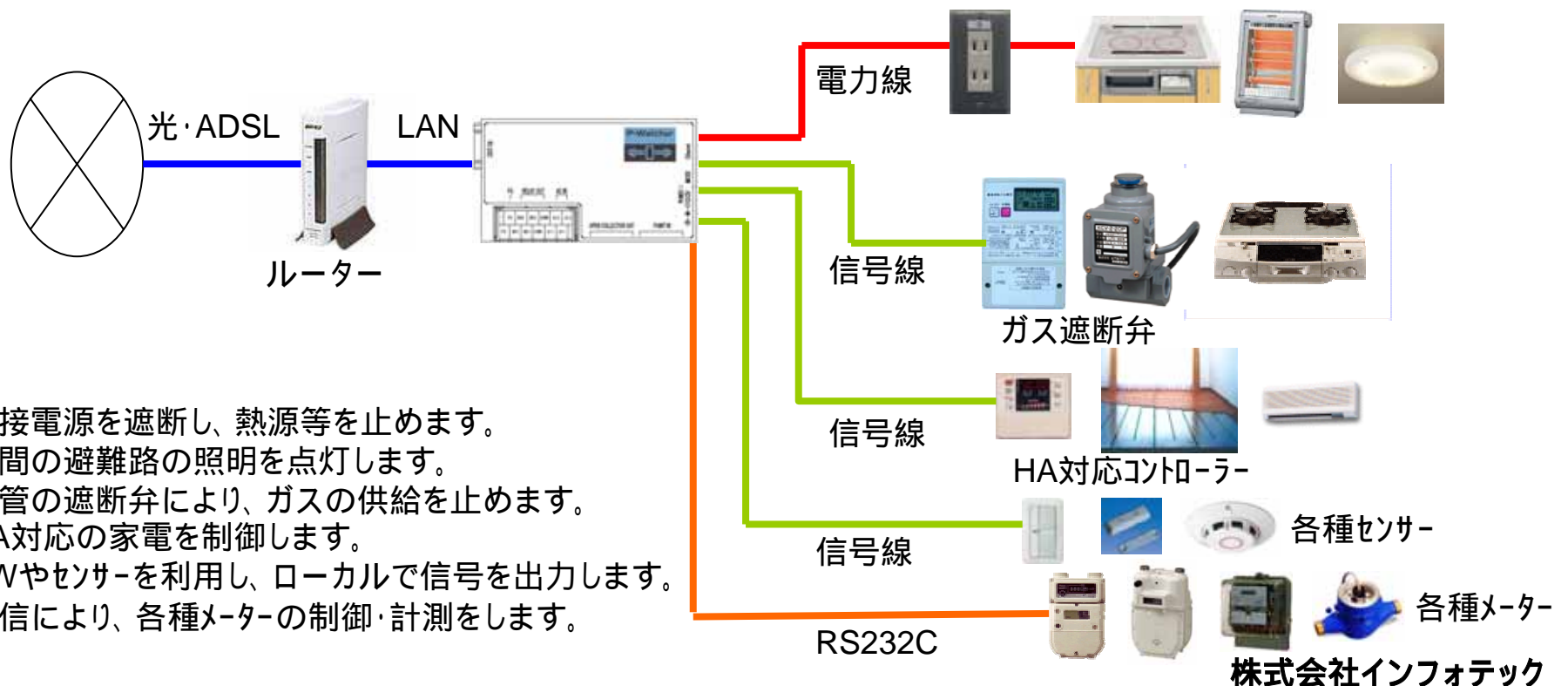
# 制御機器

無電圧接点やHA対応の端末の制御用として、Rコントローラーがあります。  
RPCとの組み合わせもできますが、制御だけでしたら単体でネットワーク上で動作します。

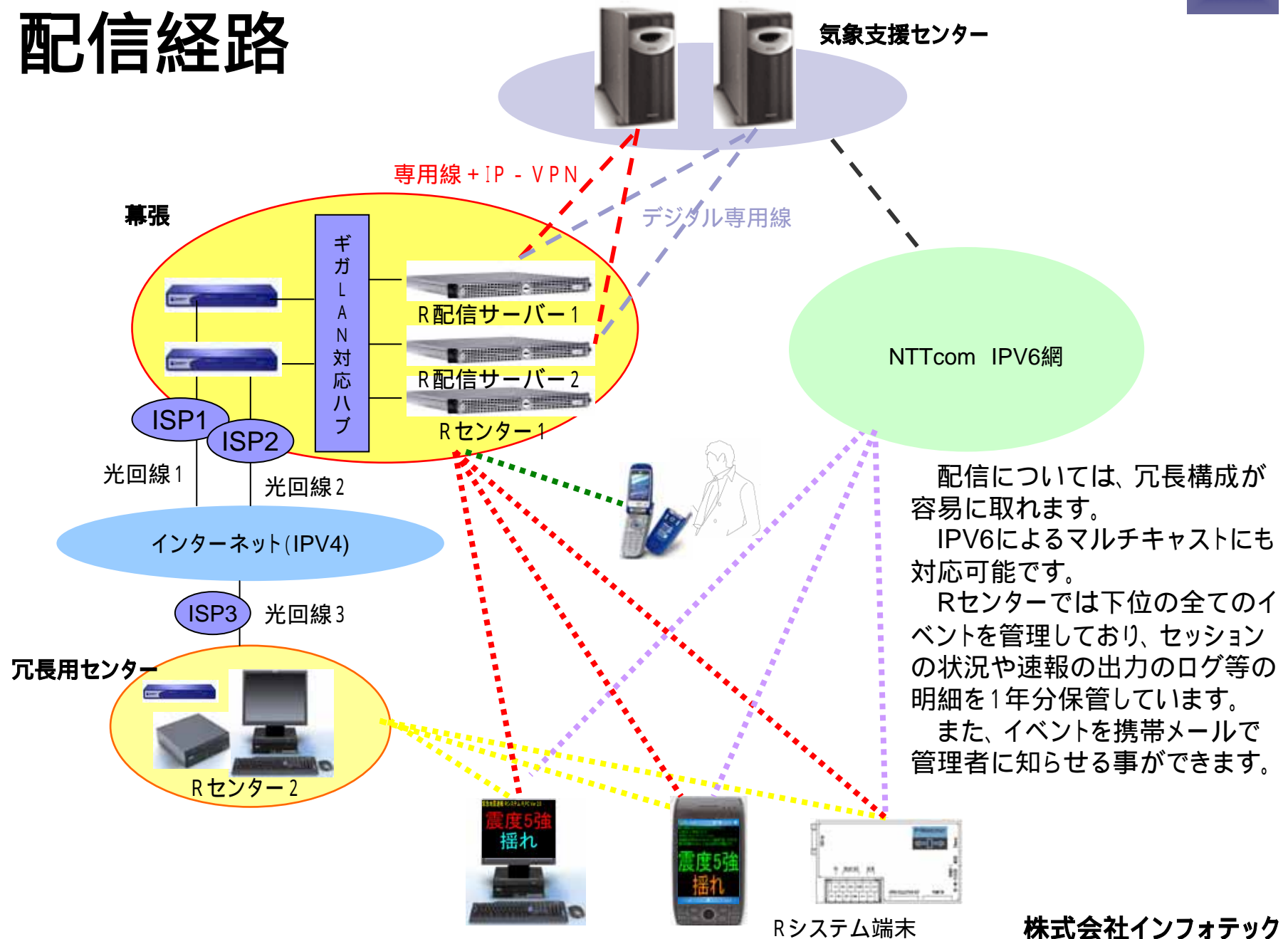
## Rコントローラー



LANによりネットワークに接続して、8つの接点で入出力が可能です。  
これにより、端末のON・OFFを行います。【8IN8OUT(内強電2接点)】  
また、接点の他にRS232CのI/Fを持ち、電文を用いてガス・電気・水道各種メーター等への通信ができます。これにより、遮断・復帰・計測が可能です。



# 配信経路



# 個人住宅におけるイメージ

Rコントローラーを中心に、家庭内のネットワークや、信号線等を組み合わせ、様々なサービスが提供できます。



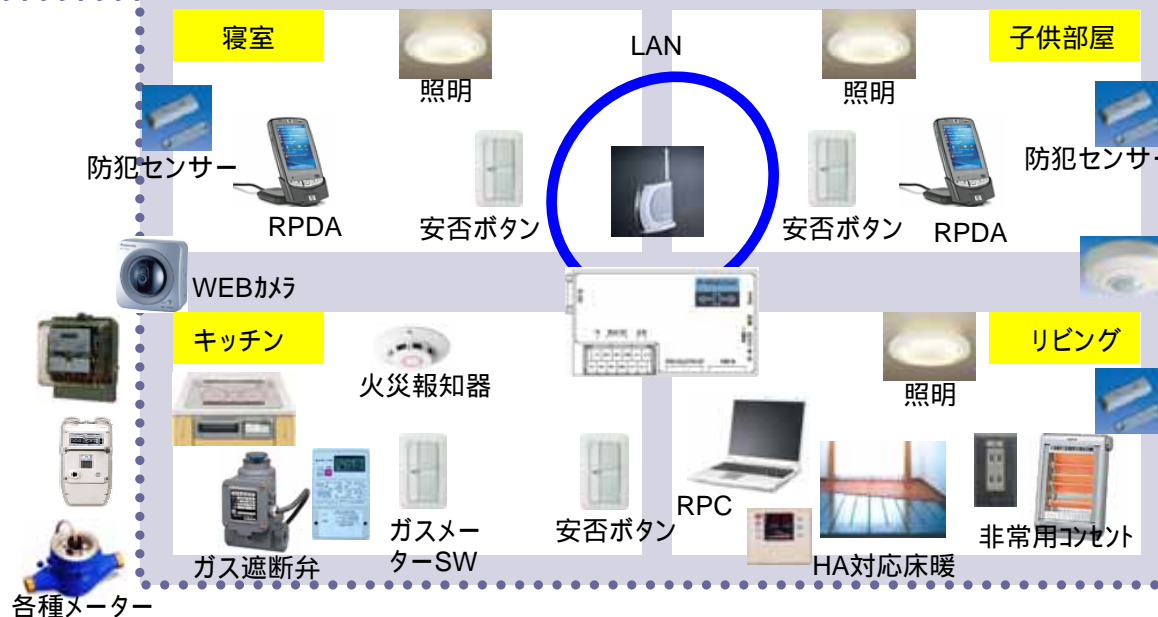
家族等の  
携帯電話

## 地震時

- ・RPCやRPDAにより、緊急地震速報を表示および音声出力します。
- ・コンロや電気ストーブなどの熱源を止めます。
- ・夜間は避難路の照明を点灯します。
- ・ガスメーターの遮断をします。その後、安全を確かめて復旧をします。
- ・安否ボタンを押し、外部の家族等に携帯メールを送信します。

## 非地震時

- ・防犯用のセンサーによる感知を知らせます。
- ・火災報知機の発報を知らせます。
- ・床暖やお風呂や照明などのHA対応家電を外部から携帯電話で制御します。
- ・外に出なくとも、キッチンのスイッチでガスメーターの遮断・復旧ができます。
- ・各種のメーターの計測ができます。



# 法人様での活用

## ■ エレベータの事前停止

1. P波センサーで地震波を検知した時と同じ運転を、事前に行ないます。
2. エレベータの復旧時のお知らせも、接点を取り込みアナウンスができます。

## ■ 一斉放送

1. 無電圧接点信号により、一斉放送のモードを起動します。
2. アナウンスの頭切れの防止の為、放送設備の立ち上がりには要する時間を調整し、音声データを流します。

## ■ その他機器の制御

1. 危険物ガス等の遮断や、振動に弱い精密機器等の固定を行ないます。
2. RS232による電文での、制御を行ないます。



# エレベータの制御

Rシステムは下記のメーカーとの連動実験を終えております。

東芝様・オーチス様・日立様・日本エレベータ様

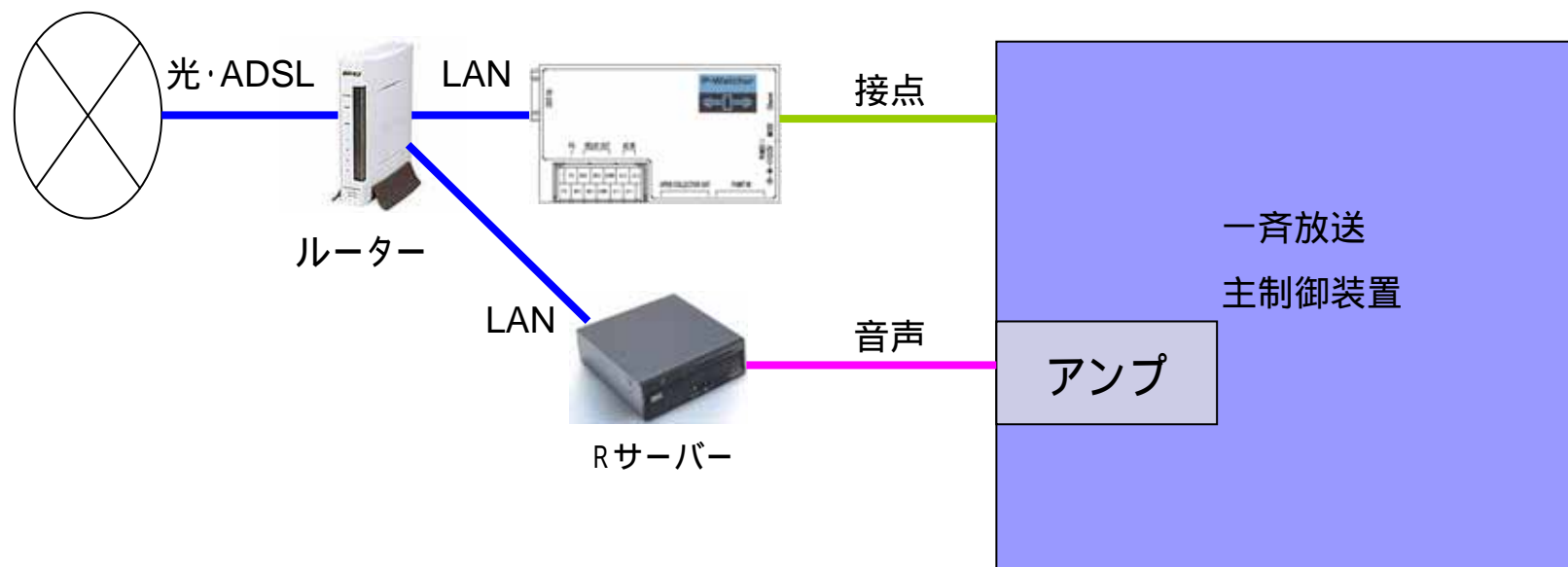


- ・LANに接続したRコントローラーのみで、エレベータ制御盤への接点信号を出力し、地震管制運転を実現できます。
- ・尚、接点の保持時間等は、エレベータ各社により、若干の違いがありますが、パラメーターの設定により、自由に対応できます。



# 一斉放送の出力

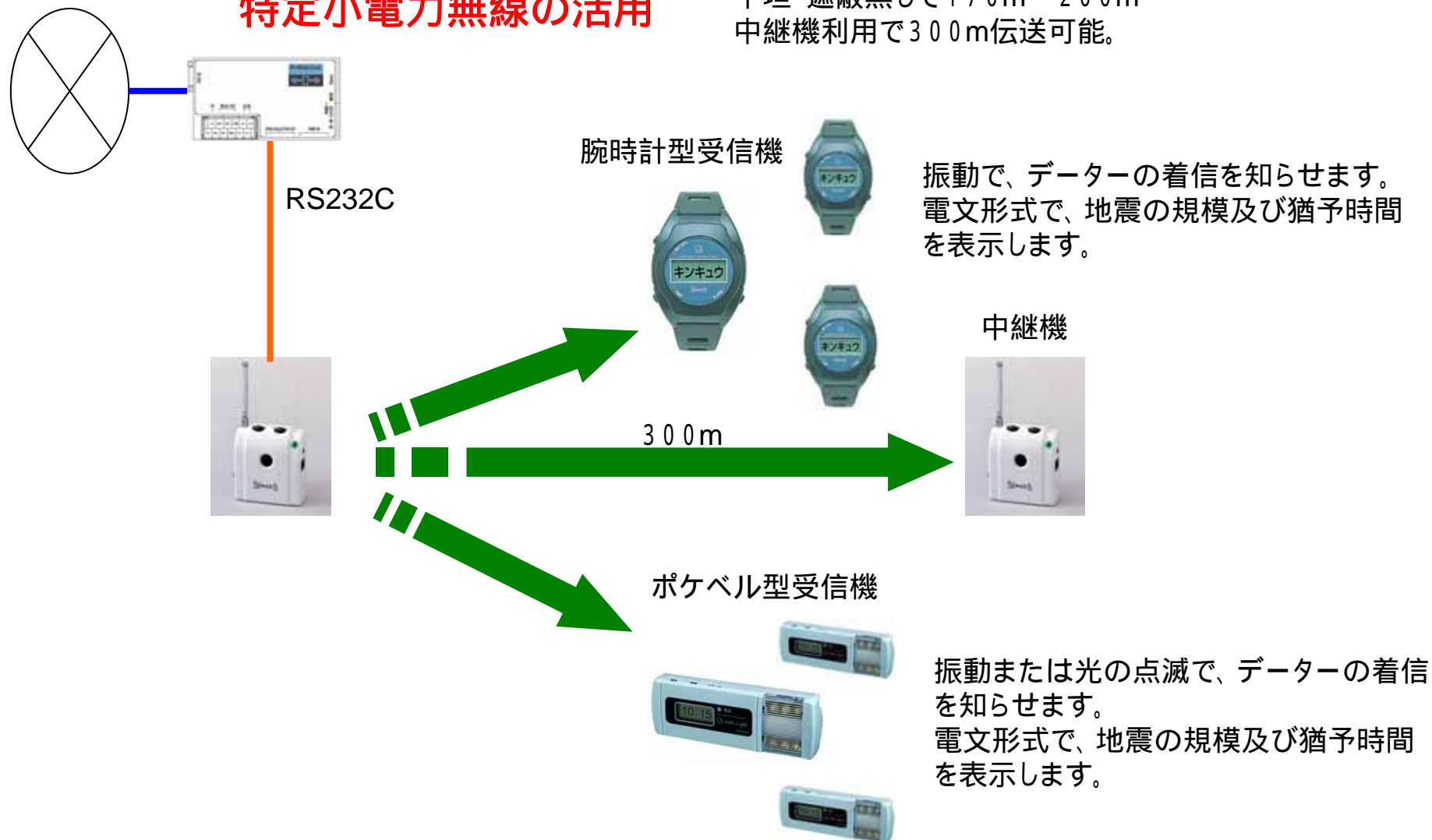
Rシステムは下記のメーカーとの連動実験を終えております。  
日本ビクター様・TOA様・アイホン様



# 外部や作業所での活用

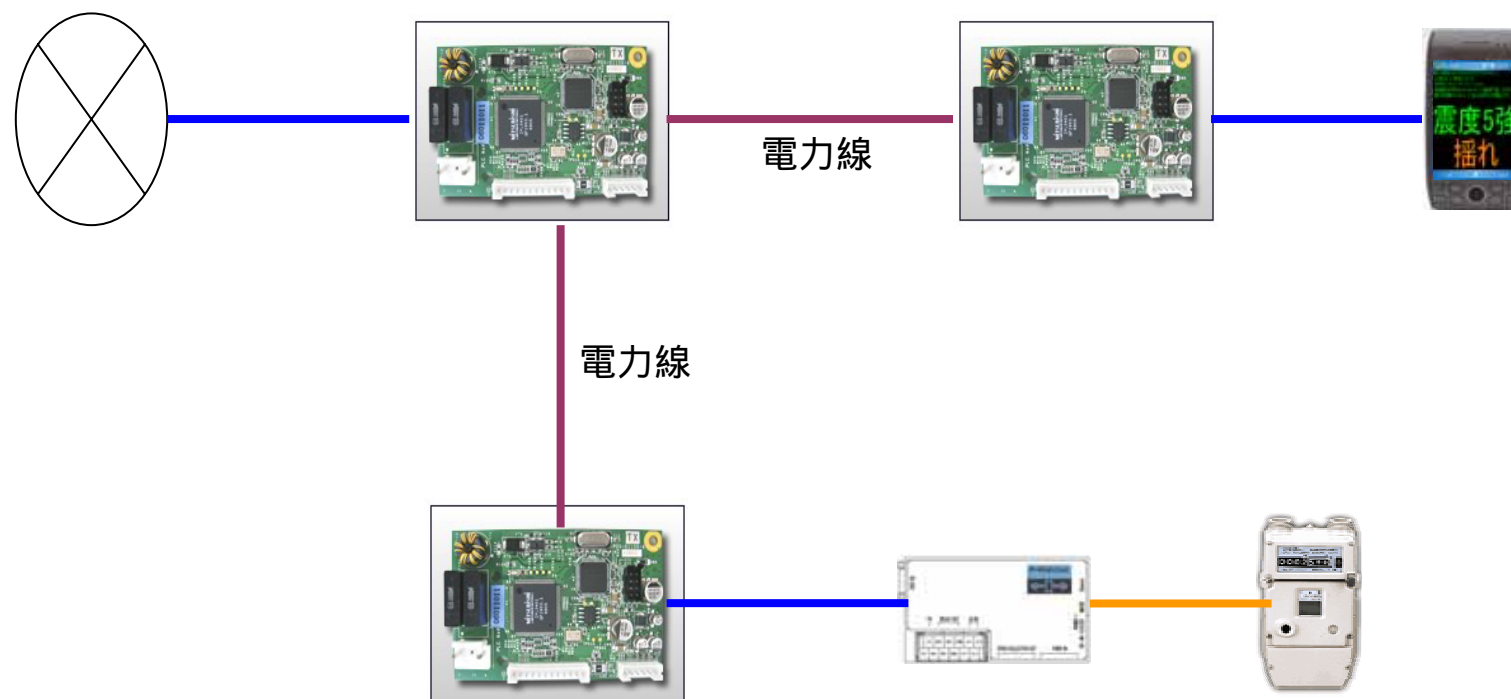
## 特定小電力無線の活用

平坦・遮蔽無しで170m～200m  
中継機利用で300m伝送可能。



# PLCの活用

電力線通信による、各居室間の通信や、外部のガスメーター等の制御用の通信に活用すべく、  
現在、当社では、三菱マテリアル製のユニット(1.6M)で実験中。



# お試し使用のお知らせ

ご希望の方に、お試し利用のご提案をさせていただきます。

ご利用に当たっては、気象庁への届出「様式2号」が必要です。



ご用意頂くもの	ADSLもしくは光回線でインターネット環境を具備したPC (固定IPは不要です)
PCのOS	WindowsXP
セットアップ	ご自身でブラウザを利用し、ダウンロードしてください。
ご使用期間	2007年2月末
費用	ご相談
ライセンス数	1ライセンス/社
配信元	インフォテックサーバー
お申し込み	2006年11月末まで

担当:角田までメールでご連絡ください。

[tsunoda@e-infotec.jp](mailto:tsunoda@e-infotec.jp)

03-3251-2666要予約(神田ショールーム<http://www.e-infotec.jp>参照)

折り返しダウンロードについての資料を返信させていただきます。